

ひろげる・つなぐ・かえる

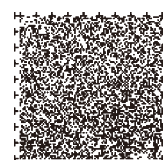
2011

1



「跳」

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声聞くことができます。



1998年のNPO法施行のあと順調に増加したNPO法人であるが、事業継続が難しいケースも増えており、三重県の法人解散数は今年11月末に89団体と累計設立数(547団体)の16%に達している。こうしたなか、NPOの課題のひとつである資金確保については行政や民間から補助金や寄付金が出され、私も幾つかこうした資金支援の選考委員に就いている。選考では組織の運営状況や活動の公益性、地域への効果などが評価され、無事通過したNPOは資金を確保して次のステージに踏み出す。しかしその後の活動継続という点では、もうひとつの課題であるスタッフ不足が足かせとなるNPOが多いように見受けられる。

その要因として、私はスタッフみんなが同じ想いで活動する難しさがあるように思う。例えば自分たちの活動が社会に必要とされているかどうかを判断する基準や、活動で得られる満足感などが仲間と共有できているだろうか。でなければ、リーダーはミッションの確認、スタッフの意思疎通、活動内容の情報公開など、組織運営や活動を通じて克服しようとするだろう。まさに選考委員がNPOを評価する際のポイントの部分で、私もこれまでこの点を重視してきた。しかし多様性が高まる今日、こうした視点も大事だがスタッフの一人ひとりの声も大切だ。無理やり合わせようすると行き違いが生じる。そこで私は最近、スタッフの充実感の源泉を「社会がどれだけ喜んでくれるか」、もっと言えば「人の喜ぶ顔が見たい」という気持ちに求めることがより重要ではないかと考え始めている。リーダーとスタッフが「熱い想い」だけでなく「嬉しい想い」も共有して活動できたらいいなと願う。

毎年11月上旬の週末に、四日市市の諏訪公園で「こども四日市」が開かれる。1,500人のこどもが、遊んで稼ぐ(仕事をしてこどものお金よーを得る)ために集まり、私も仕事場のひとつである「銀行」の親方として参加している。毎年集まるボランティアの大人たちは、大勢のこどもに振り回されながらも「こどもの喜ぶ顔」を見ていつも楽しそうだ。ボランティアは個人ベースの活動でNPOとは異なることは百も承知で、それでも「人の喜ぶ顔が見たい」の気持ちの求心力はすごいと言いたいゆえんである。

助成金情報



市民活動



環境



市民活動

第19回「住まいとコミュニティづくり活動助成」公募のご案内

受付期間 2011年1月14日(金) 必着

対象団体 「営利を目的としない民間団体(特定非営利活動法人もしくは任意団体)。

- ・団体として、代表責任者が明確であること
- ・意思決定のしくみが確立されていること
- ・予算決算を含む会計処理が適切に行われていること

対象活動 住まいとコミュニティづくりに関わる以下のような分野についての活動。

- ・社会のニーズに対応した住まいづくり
- ・住環境の保全・向上
- ・地域コミュニティの創造・活性化
- ・安全で安心して暮らせる地域の実現 他

助成金の額 1件あたり100万円を上限とします。

助成期間 2011年4月1日から2012年3月31日までの原則1年間。
※なお、継続して助成することがありますが、この場合もあらためて申し込み、選考を受けることとします。(上限3年)

応募方法 助成公募の詳細は、以下のホームページをご覧ください。
<http://www.hc-zaidan.or.jp/josei/josei19/>
※第17回の助成対象団体の報告書(冊子とCDで無料配布)を希望の方は下記ホームページまで。
http://www.hc-zaidan.or.jp/publish/publish_sumai2009.html

問い合わせ先 財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-5-11 新虎ノ門ビル 5F
Tel 03-3586-4869 Fax 03-3586-3823

HP <http://www.hc-zaidan.or.jp/>



環境

平成23年度地球環境基金助成金募集

受付期間 2011年1月24日(月) 必着

(1) 一般助成

1. 提案事業を確実に実施するだけの知見、実績(原則3年以上)、専門性を有する団体が行う環境保全に資する活動が対象。
2. 事業の先駆性や波及効果の高さを重視。
3. 単年度助成。但し、助成継続年数は原則として3年間。
4. 助成金の下限は100万円。

(2) 発展助成

1. 助成対象の裾野を広げるための助成。これまで地球環境基金から助成を受けたことがない団体が対象。
2. 提案事業を実施することのできる知見、実績、専門性を有する団体が行う環境保全に資する活動が対象。実績については1年以上の実績を有するか、あるいはこれに匹敵する他の根拠があれば対象とします。
3. 一般助成に比べ、地域性が高い事業についても、今後の発展の可能性が高いものは対象とします。
4. 単年度限りの助成とし、次年度以降も助成を希望する場合は、一般助成において実績のある団体として取り扱います。
5. 助成金の下限は50万円。

助成金の額 (1) 一般助成

- ・通常活動 上限おおむね400万円
- ・大きな活動規模の案件 上限おおむね800万円

(2) 発展助成

- ・上限おおむね400万円

※地球温暖化防止、生物多様性保全、環境型社会形成に該当する活動で、かつ複数の民間団体または民間団体と行政や事業者等の協働により行われる活動については、一般助成なら1200万円、発展助成なら600万円程度まで可。

参加企業募集中!!

みえ市民活動ボランティアセンターでは、企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)の中で、企業の社会貢献活動について活動事例をセンター内掲示版とホームページにて発信しています。県内の企業の活動一覧や新聞記事の掲示、企業が発行する広報誌の閲覧ができます。ホームページ (<http://www.mienpo.net/center/>) では、「企業の社会貢献検索Mカンパニー」で県内企業を中心に現在 314 件を紹介しています。地域別、企業の業種別、環境・福祉といった貢献の分野や、寄付行為・ボランティア活動などの貢献形態で検索が可能です。また、新たな取り組みとして今年1月から、「CSR三重の企業・社会貢献展」を予定しています。社会貢献に積極的に取り組まれる企業を紹介するもので、定期的開催します。企業の活動を「つたえる」、「ひろげる」、「(市民活動団体の活動と)「つなげる」ことを求めて、一つずつ積み重ねていきたいと思っています。

出展参加のご希望は、当センター CSR 担当 (谷、富田) までお問い合わせください。
☎ 059-222-5995 Fax059-222-5971 ※出展は無料です。

シンポジウム

**「新しい視点で考える指定
管理者制度」**

～ NPO が新しい公共を担っていくために～

指定管理者制度が導入されて7年。NPO が公共を担っていく時、現状で見える問題点や課題は何なのか？どう解決していけばいいのか？行政との関係の在り方は？など、県内外のシンポジストによる意見交換。

日 時

平成 23 年 2 月 27 日 (日)
14:00 ～ 17:00

場 所

みえ市民活動ボランティアセンター
交流スペース
(津駅東口隣接ビル・アスト津3階)

- 助成期間** 2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日
- 応募方法** 募集案内は、環境再生保全機構ホームページ (<http://www.erca.go.jp/jfge/>) で公表します。印刷物の入手を希望されるかたは下記までご連絡下さい。
- 問い合わせ先** 独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金部地球環境基金課
〒 212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310
ミューザ川崎セントラルタワー 8 階
Tel 044-520-9505 Fax 044-520-2190

市民活動

平成23年度「地域の伝統文化保存維持費用助成」制度

- 受付期間** 2011 年 1 月 31 日 (月) 当日消印有効
- 対象団体** 地域の民俗芸能や民族技術の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体
- 対象活動**
- ・ 平成 24 年 3 月までに、後継者育成と保存継承に必要な諸費用 (道具整備費、製作材料費、育成研修費、記録保存費用など) の支出を予定していること。
 - ・ 上記支出を賄うために、個人または団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠の状態であること。
- ＜次に該当するものは、対象外とします。＞
- 1 国指定の重要無形民俗文化財。ただし、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」は対象となります。
 - 2 家元、流派などが確立され保存維持の見通しが立っているもの。
 - 3 申請した事項につき、国・地方公共団体などの公的助成ないしは他財団などからの助成を受けているものや、受ける予定のあるもの。
 - 4 伝統性、地域性の希薄なもの、助成対象が不

特定なもの。

- 5 助成を受ける団体や組織の形態および事業内容が明確でないもの。
- 6 伝統に基づかないイベントや行事など、当財団の助成目的に沿わないもの。

- 助成金の額** 地域の民俗芸能…1 件につき 70 万円を限度
地域の民族技術…1 件につき 40 万円を限度
- 助成期間** 単年度助成が原則。ただし、必要に応じて最長 3 年間の継続助成も可。

- 応募方法** 下記提出書類をでき得る限り、簡易書留便で送付願います。
- a. 申込書 (所定 A4 用紙 3 ページ)
 - b. 推薦書 (所定 A4 用紙 1 ページ)
- 申込に際しては、市町村教育委員会、公立博物館、学識経験者等からの推薦ならびに県教育委員会または知事部局の文化関係課・文化財関係所管課の推薦とコメント・捺印が必要
- c. 写真 (カラーコピーでも可)
 - ・ 行事や練習風景など活動が判る写真
 - ・ 申請にかかわる道具や衣装の現在の状況などが判る写真
 - d. 前年度の収支決算書 (写)
 - e. 今年度の収支予算書 (写) ※作成済みの場合添付
 - f. その他、継承してきた伝統文化の参考資料
 - g. 申込に関わるパンフレット・見積書 (写)
 - ※入手済みの場合添付

- 問い合わせ先** 財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団
〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 1-9-1 (明治安田生命新宿ビル)
Tel 03-3349-6194 Fax 03-3345-6388
- HP** <http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp/>

NPO から寄せられた募集とご案内

多文化共生啓発イベント

「みつめる かんじる ふれあう ～あなたが作る笑顔のつながり～」

外国の音楽やダンスを通じた文化交流、国際交流団体の活動を紹介します。

●ステージイベント

サクソ演奏、ミャンマーダンス、フィリピンダンス、二胡演奏、ブラジル格闘技「カポエイラ」ほか

●ブースコーナー

県内国際交流団体活動紹介、フィリピン屋台、バルーンアートほか

日時 1月15日(土)、16日(日)

両日とも11:00～16:00

場所 松阪ショッピングセンターマーム
(松阪市船江町 1392-27)

参加費 無料 申込不要

主催 三重県多文化共生啓発事業
実行委員会

問い合わせ Tel 059-222-5974

Fax 059-222-5984

✉ kokusai@pref.mie.jp

NPOの新しいうごきを議論する

みえNPO検討会 第10回

茨城NPOセンター・コモンズの常務理事である横田能洋さんを講師に、NPO支援の5つの柱と5つの事業資源・人材・連携・協働・インフラについて議論します。

日時 1月21日(金)
19:00～21:00

場所 アスト津3階(津駅東口隣接ビル)
みえ市民活動ボランティアセンター

問い合わせ (特活) みえNPOセンター
Tel 059-222-5995

✉ mienpoken-office@miraiwork.jp

HP <http://www.mienpocenter.org>

若者の自立を考える家族向けセミナー

「働きたいけど、働けない若者たち」

無業の若者の自立に向けて、家族ができる支援について考えます。ご家族だけで悩まず、ぜひご参加下さい。

日時 1月22日(土) 14:00～16:00

場所 松阪市市民活動センター
大会議室(松阪市日野町 788
カリヨンプラザ)

講演 三重大学人文学部准教授
石阪 督規氏

「働きたいけど、働けない若者たち」

対象 自立に悩む無業の若者の家族

参加費 無料 前日までに三重県若者自立支援センター(Tel 059-246-1212)へ電話申込み

主催 三重県、みえ若者就労支援ネットワーク

共催 財団法人三重県労働福祉協会

問い合わせ Tel 059-246-1212

Fax 059-222-3301

(担当/三宅)

✉ wakamono@pref.mie.jp

HP <http://www.oshigoto.pref.mie.jp/youth/index.html>

中間支援機能強化ワークショップ 「企業との連携による市民活動 の新事業展開」

コミュニティビジネスの概念と手法について理解を深めるとともに、NPOの事業展開への活用方法を考えます。またその事業展開を効果的に進める方策として、企業セクターとの連携について事例を通じて学びとともに、その推進のために市民活動センター等の中間支援組織が果たせる役割とノウハウについて検討します。

講師 NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター

代表理事 永沢 映氏

日時 1月28日(金) 10:00～12:00

場所 みえ県民交流センター ミーティングルーム(アスト津3階)

対象 NPO、市民活動センター・社会福祉協議会等の中間支援組織の関係者で、コミュニティビジネスや企業との連携に関心がある方

参加費 無料 要申込み

主催 三重県農水商工部商工振興室

問い合わせ Tel 059-224-2227

Fax 059-224-2480

(担当/稲葉)

✉ shinsan@pref.mie.jp

まちを元気にしよう!

紀北町ワイワイ

おひなさままつり

高齢者の生きがいづくり、居場所づくりを目的に活動している手づくり工房・ワイワイではまちを元気にしようと地域の人たちの手で作られたたくさんのおひなさまを飾り、まちを盛り上げます。当日は、抹茶・ぜんざいのおもてなしのほか、こどもも大人も楽しめるおひなさまづくり体験教室を開催します。

日時 1月29日(土)～1月30日(日)
10:00～16:00

場所 紀北町 ふれあい広場マンドロ
(JR 紀伊長島駅下車徒歩1分)

参加費 無料(おひなさまづくり体験は500円～) 申込不要

主催 手づくり工房・ワイワイ

問い合わせ Tel 090-6762-3535

(担当/井谷)

HP <http://plaza.rakuten.co.jp/waiwai/>



参加の体験談、甲冑着用体験など 第5回

手作り甲冑教室参加説明会

紙など家庭用品を使って甲冑を作る教室に参加するための事前説明会です。過去に参加した人の体験談や甲冑の着用体験もあります。あなたも手作り甲冑を作って津まつりや地域イベントに参加して盛り上げましょう。

日時 1月30日(日)
13:30～15:30

場所 津センターパレス 2階会議室 1

対象 高校生以上

参加費 無料 要申込み

主催 (特活) 三重ドリームクラブ

問い合わせ Tel 059-271-9978

Fax 059-255-2257

(担当/加藤 久)

✉ qzo1341004@yahoo.co.jp

「デザインの基礎」と「手作り感」で差がつく! 「ワードで作るチラシ講座」

ワードで作ったチラシは「なんだか味気ない…」と感じる人も多いのでは? それなら「手作り感」をプラスし、見た目に差をつけよう!

この講座では、まず「デザインの基礎」を踏まえ、下書きから完成までのプロセスを、実際のチラシを例に進めます。パソコンに少し自信のある人なら即実践できるコツをご紹介します。

※松阪市外の方も受講できます。

日時 2月4日(金)

19:00～21:30 程度

場所 松阪市市民活動センター

対象 「ワードアート」「オートシェイ

「テキストボックス」など、ワードで使用するツールの意味をある程度理解し、扱える方。
※当日は「ワード 2007」または「ワード 2003」がインストールされたノート型パソコンをご持参下さい。

講師 デザインオフィス アトリエ
アートマン代表 澤 卓哉
(特活) Mブリッジ 広報担当
福島 有香

参加費 1,500 円 要申込み
※受講料は諸経費を除く全額を市民活動のサポートに活用。

募集人数 定員 20 名程度

応募締切 2 月 2 日 (水)

定員になり次第受付を終了。

応募方法 【メールでお申し込みの場合】
件名を「ワードで作るチラシ講座受講希望」とし、「氏名」「住所」「連絡先」を明記の上、下記メールアドレスまで送信してください。

【お電話でお申し込みの場合】
上記の内容をお電話でお伝え下さい。

問い合わせ先 松阪市市民活動センター

Tel 0598-26-0108

Fax 0598-25-3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

HP <http://www.katsudou.com/>



活動報告とワークショップ

新しいふれあい社会を創出するために

日時 2 月 2 日 (水)

13:00 ~ 16:30

場所 三重県津市社会福祉会館 講堂

内容 ①岐阜県郡上八幡でたすけあい活動を実践している人の活動報告

②会場に三つの島を作り三重県で住民参加型のサービスを実践している人のグループ、愛知県大府市で高齢者の居場所を開いている人のグループ、静岡県袋井市で地域通貨を実践し成功している人のグループに分かれワークショップを計画。今回の催しに出席される方全員に参加していただきます。

対象 市民活動に興味のある方、これから団体を立ち上げようとしている個人および団体

参加費 資料代 500 円 要申込み
(先着 100 名に限定)

主催 公益財団法人さわやか福祉財団

共催 社会福祉法人
三重県社会福祉協議会

問い合わせ先 Tel 0596-22-6681

Fax 0596-27-3268

(担当/大西)

E-mail magokoro@fuga.ocn.ne.jp

今年も募集!

「コーヒー飲ん de 団体支援」 ～団体活動ポスター&ミニプレゼンで支援金を～

みえ県民交流センター内のコーヒーコーナーでは、コーヒー1杯につき寄付を頂いています。1年間分の寄付金から、センター登録団体4団体に3万円ずつ寄付します。今年も団体の活動内容を表記したポスターを先着18団体募集します。そのポスターをセンター内に掲示し、センターご利用者に支援したい団体に投票をしていただきます。その投票数と投票期間最終日に行うミニプレゼンテーションの投票数の合計で、4団体を選出します。是非応募してください。

●ポスター募集

1 月 4 日 (火) ~ 2 月 19 日 (土)

●ポスター掲示・投票期間

2 月 20 日 (日) ~ 3 月 18 日 (金)

●ミニプレゼンおよび贈呈式

3 月 19 日 (土)

場所 アスト津 3 階

みえ県民交流センター

対象 センターに登録している団体

募集団体数 先着 18 団体 (昨年度の受賞団体は対象外とします)

応募締切 2 月 19 日 (土) まで

主催 みえ NPO センター・ワーカーズコープ

問い合わせ先 みえ市民活動ボランティアセンター

Tel 059-222-5995

Fax 059-222-5971

(担当/谷・田中)

E-mail center@mienpo.net

HP <http://www.mienpo.net/center/>



E-mail

HP ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mail または Fax にて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2) E-mail は件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO センター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象: 三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有する NPO 法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに” “みなさまとともに”

詳しくは TEL 059-354-7130 (担当 松川) まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続まで

NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 0120-406-414

奥島要人行政書士事務所 (本町総合事務所 L L C 内)
三重県津市本町 14-18 URL www.e-houmu.info

理念と歩みから学ぶ NPO物語

NPO STORY

Vol.21

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を
紹介していきます。

世界一の環境先進大学を めざして

三重大学環境 ISO 学生委員会
委員長 平野 穂波

三重大学生の環境マインド向上を当初の目的として

創設の経緯とミッションについて教えていただけますか。

三重大学が環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」認証取得を果たすため、前学長がキックオフ宣言をされたのですが、その際に三重大学の教職員だけでなく一般学生の環境意識を高めるために、学生による組織として三重大学環境 ISO 学生委員会（以下、「学生委員会」と略）が設置されました。

学生委員会は、学内外の環境活動だけではなく、三重大学生の環境マインドの向上ということを第一の目的として日々活動を行っており、世界一の環境先進大学をめざす三重大学の環境活動の一翼を担う中心的存在となるよう努めています。

環境にかかわる取り組みを学内外でさまざまに展開

ミッション達成のための活動や組織はどのようなになっているのでしょうか？

環境 ISO 学生委員会は、グリーンキャンパス部、地域連携部、国際環境部、広報部、総務部と5つの部によって構成されています。主に三重大学内の環境活動としてエコバッグ配布（全学生・教職員）による大

学生協のレジ袋削減などの Reduce（廃棄物の発生抑制）、キャンパス内の放置自転車を回収、修理、点検して新入生などに譲渡、再利用に供する Reuse（再利用）、古紙回収とトイレトーパーへの再生利用などの Recycle（再生利用）といった3R活動や堆肥化した落ち葉を用いた花壇で花を育てる学内緑化のグリーンキャンパス活動などを行っています。

今年（2010年）は新しい Reuse 活動として、3月に卒業生からテレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、炊飯器の5品目の家電製品を回収し、修理・点検した後、4月に新入生や留学生に譲渡するという活動「まわれ!!リユースプラザ in 三重大」も行いました。

身近な課題の改善に取り組む

課題をどのようにとらえ、活動に結び付けていらっしゃるのですか？

例えば、今ご紹介した「まわれ!!リユースプラザ in 三重大」は事務局学務部から「家電製品の不法投棄の問題があるので、協力していただけないか」とお話をいただいたり、校舎外壁に植物の生育によって建物内の温度上昇を抑える緑のカーテンの取り組みは、施設部から声をかけていただいたりと、学生委員会が発案して活動することも多いのですが、他の学生や教職員から提案いただいたり、サポートしていただきながら取り組んでいます。

「町屋海岸モデル」をきっかけに、さまざまなネットワークが広がる

学外との地域連携についてお聞かせください。

地域連携部では本学のキャンパスに隣接し、不法投棄問題を抱える町屋海岸の清掃を、地域住民の「NPO法人町屋百人衆」という団体と協力して行っております。次回*は11月21日に海岸清掃があるのですが、その海岸清掃で23回目となります。

最近では100人を超える人数で学生も参加して活動しています。町屋百人衆や学生委員会などがゴミ拾いなどの海岸美化活動を行い、津市が回収した不法投棄物の処理を行っています。

学生委員会は「町屋海岸モデル」の構築および運用を目標としています。町屋海岸モデルとは、共同実施者として、中部電力株式会社の産(民間企業)、三重県・津市の官(地方自治体)、三重大学・津市立北立誠小学校の学(教育・研究機関)、町屋百人衆の民(地域住民)の産官学民が協力して、“素足で走れる町屋海岸”をめざすものです。

* インタビューを実施した2010年11月8日時点であるため【編者注】



北立誠小学校での環境学習のひとコマ

もう一つの町屋海岸モデルの活動として、大学近くにある北立誠小学校の児童に、海岸清掃をしてゴミをなくしてきれいにするだけではなく、ゴミを捨てない人材を教育していく必要があるということで、環境学習を行っています。昨年(2009年)は「どうしたら不法投棄をなくせようか」をテーマに、児童にポスターを描いてもらいました。そのポスターの中から4点を不法投棄防止啓発看板として選び、町屋海岸に設置しました。

2010年は6月に第1回環境学習を行っており、今年は多くの生物が棲み身近な環境である川について学ぶことで、こどもたちに生物多様性を学んでもらうことを目的としました。内容は、事前に北立誠小学校傍を流れる志登茂川の上流・中流・下流の水を取って来て、水質調査でCOD(化学的酸素要求量)を調べました。どうしてCOD値が違うのだろうかということについて子どもたちとともに話し合いを行い、こどもたちと一緒にわたしたちも学んでいます。

ほかにも地域貢献活動として、津なぎさまち(中部国際空港への海上アクセスの拠点)でも毎年、津市と連携して環境をテーマにしたイベントを行っています。



三重大学環境 ISO 学生委員会メンバー

もっと広報活動に力を入れて、環境マインドの高い学生を増やしていきたい

課題と将来展望については、いかがですか？

先ごろ全国青年環境連盟(エコ・リーグ)主催のエコ大学ランキングの全国1位に三重大学が選出されました。他大学と比べて、学生が積極的に活動している点が評価されたようです。

課題というのは、環境意識の高い学生はまだ少ないので、環境について興味があったり、意識を高めていこうという学生がもっと増えていかなければいけないと思っています。ゴミ減量対策で看板を設置しても、ゴミが捨てられていることがあったり、環境意識の低い学生もまだいるのではないかと思いますので、もっと学内や掲示板、ホームページなどでの広報活動に力を入れて、環境マインドの高い学生を増やしていこうと考えています。

また学長と共に私たち学生委員会も三重大学を世界一の環境先進大学とすることを目的としていますので、学内、学外だけでなく世界に向けてもっと活動をアピールしていきたいと思います。



COP10 で取り組んだ多くの活動の1つ「国際環境教育シンポジウム」

【データ】

〒514-8507	三重県津市栗真町屋町 1577
T e l	059-231-9224 (環境 ISO 推進室)
E - m a i l	query@iso.mie-u.ac.jp
ホームページ	http://www.iso.mie-u.ac.jp/student/
代 表 者	平野 穂波 (委員長)
団体設立年月日	2006 年 2 月 21 日
会 員 数	150 名



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

〈Monthly Selection〉

- ◆『ニッポンが流山になる日』
～市民が誇りと歓びを感じる街をつくる、効率的自治体経営～
著者：井崎義治 発行：ぎょうせい
発行日：2010 年 9 月 20 日
- ◆『地域調査から自治体政策づくりへ』
～経験主義からの実践論～
著者：遠藤宏一 発行：自治体研究社
発行日：2010 年 8 月 15 日
- ◆『コミュニティメディアの未来』
～新しい声を伝える経路～
編著：松浦さと子/川島 隆 発行：晃洋書房
発行日：2010 年 3 月

とぴっくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時、取り上げます。

企業の社会的責任

「企業の社会的責任」(Corporate Social Responsibility:CSR)にもさまざまな側面があり、求められる内容についても国や地域、時代背景などによって随分変化してきていることを立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授の萩原なつ子さんの「第9回 みえNPO検討会」の問題提起でうかがいました。社員の清掃活動といったありがちな活動ではなく、もう一歩進んで、企業も地域や社会に果たすべきあり方を問われる時代になりつつあるのは確かかなようです。

企業にとって大事な株主や従業員といった従来考えられてきた関係者だけでなく、今までの社会貢献とは異なる社会全体を視野に入れた取り組みが求められています。また、大企業だけでなく中小企業にも NPO と共に地域に密着した形での社会的責任が問われる時代になってきているのではないのでしょうか。

【参照】 <http://www.mienpocenter.org/> みえNPO検討会】

みえ市民活動

ボランティアセンターから

お知らせ

Tel 059-222-5995

ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

表紙の写真

1月号の表紙に、書家の越尾泰英さんに書をお願いしたところ、書いていただいたのは、「跳」という文字でした。「跳の偏(へん)の下部分はウサギが跳んでるイメージで、旁(つくり)は梅の花と枝木をイメージしています」このことで、新春にふさわしい表紙ができました。多謝。私たちも、この書のように勢いよく、元気に跳躍できる年でありたいと思います。どうか今年が皆様にとって、実り多き1年でありますように。



NPO無料よろず相談

毎回 2 団体先着順のため、相談日の 1 週間前までにお申し込みください。

対象 NPO 法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

日時 毎月第一火曜日(祝祭日の場合は翌日)
(1) 10:00 ~ 11:00
(2) 11:00 ~ 12:00
【今後の予定: 1 月 11 日、2 月 1 日、3 月 1 日】

場所 アスト津 3 階(津駅東口隣接ビル) みえ県民交流センター

相談員 みえ県民交流センター指定管理者
みえ NPO センター・ワーカーズコープグループ代表 みえ NPO センターの代表理事、同事務局長

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りますか?～

中間支援、NPO 支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。(※隔月に開催)

日時 1 月 27 日(木)
13:30 ~ 16:00

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市) みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市) 桑名市市民活動センター (いなべ市) いなべ市市民活動センター (東員町) とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市) 四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 (亀山市) 亀山市市民協働センター (鈴鹿市) 市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学/鈴鹿市立白子公民館 (松阪市) 松阪市市民活動センター/三重大学 (伊勢市) いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市) 鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市) 志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市) 名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/皇學館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター (伊賀市) 伊賀市市民活動支援センター/ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所 (尾鷲市) 東紀州コミュニティデザインセンター (明和町) めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町) 南伊勢町町民文化会館 (紀宝町) 紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

虹の学校を支える会	(平成 22 年 6 月 1 日)
鈴鹿循環共生パーティー	(平成 22 年 9 月 6 日)
大紀町日本一のふるさと村	(平成 22 年 9 月 16 日)
三重県日本中国友好協会	(平成 22 年 9 月 27 日)
NPO 法人 SGS	(平成 22 年 11 月 4 日)
フォー・クローバー	(平成 22 年 11 月 4 日)
CIL・ARCH	(平成 22 年 11 月 12 日)
就職活動支援機構	(平成 22 年 11 月 22 日)
(平成 22 年 11 月 10 日～平成 22 年 12 月 9 日届出分)	

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

JAバンク
三重県下JA/JA三重連

三重銀行

健全・安心・貢献
東海ろうきん

re70 古紙 70% の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。